

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成21年 10月 18日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2276700214
法人名	(有)アートプロジェクト
事業所名	グループホーム 磐田かつらぎの家
所在地 (電話番号)	静岡県磐田市岩井2070-9 0538-37-1008

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社
所在地	静岡市清水区迎山町4番1号
訪問調査日	平成21年8月28日

## 【情報提供票より】(平成21年8月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年3月15日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤 17人/ 非常勤 4人/ 常勤換算 17人	

### (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨造り 3階建ての1階～3階	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	¥35,000	その他の経費(月額)	¥1,000
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	昼食	
	夕食	おやつ	
または1日当たり ¥1,000			

### (4) 利用者の概要(平成21年8月10日現在)

利用者人数	27	男性	8 名	女性	19 名
要介護1	7 名	要介護2	7 名		
要介護3	10 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 83.03 歳	最低	61 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	いわせ医院
---------	-------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い駐車場を要した3階建ての建物の周辺は、アパート・一般住宅が続々と建てられ情景の変化が著しい。3ユニットのホームはそれぞれの特徴を活かしたカラーが見られ、小さなことでも可能性を見出して利用者に「できる。」喜びと自信を持ってもらうよう利用者を中心にした支援がされている。自治会の協力の基に、「磐田かつらぎの家だより」を回覧板で回しホームのアピールを行っているほか、地域のお祭りには山車が広い駐車場に来て利用者を喜ばしてくれたり、また、文化祭には利用者の作品を数多く出品するなど、出来得る限りで地域の一員として暮らせる取り組みがされている。今後、真の地域密着のホームとなるよう近隣住民とのコミュニケーションが日常茶飯事できる取り組みを期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善を指摘した項目は、真摯に受け止め改善の跡がみられた。特に運営推進会議の開催は3ヶ月から2ヶ月に改善され、参加者も多方面に亘っており会議の目的に添った取り組みが見られた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各ユニットごとに自己評価を実施している。外部評価の改善課題についても、具体的な改善に前向きに取り組んでいる。また、前回の外部評価を玄関受付場所に置いて利用者家族等の閲覧に供している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>昨年までは3ヶ月に1回開いていたが、今年からは2ヶ月に1回継続的に開催されている。会議には老人会の会長も参加してくれるようになって充実した会議が実行され、地域からの要望、行政からのアドバイス等を受け、サービス向上に役立っている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営推進会議や面会時には積極的に意見を聴取する努力をしている。家族等から出された意見・相談ごとなどは職員会議の席や日々の生活を支援の中で話し合い運営に活かしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会との関係は良好で、お祭りの山車が来てくれたり、文化祭には利用者の作品を出品している。回覧板に「磐田かつらぎの家だより」を入れていただいて地域との結びつきをより身近に感じる努力をしている。また、今年は老人会に参加することを目標として掲げている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着を目指して、「ゆったりとした介護と環境・楽しく暮らせる第2の家」を理念に掲げている。		
		○理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示して職員への意識付けを図っている。また、利用者が楽しく暮らせるようにと、催し物などを積極的に取り入れていくなど理念の実践に努めている。		
2. 地域との支えあい					
		○地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会との関係は良好で、お祭りの山車が来てくれたり、文化祭には利用者の作品を出品している。また、回覧板に「磐田かつらぎの家だより」を入れていただいて地域との結びつきをより身近に感じる努力をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		○評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各ユニットごとに自己評価を実施している。外部評価の改善課題についても、具体的な改善に前向きに取り組んでいる。また、前回の外部評価を玄関受付場所に置いて利用者家族等の閲覧に供している。		
		○運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年までは3ヶ月に1回開いていたが、今年からは2ヶ月に1回継続的に開催されている。会議には老人会の会長も参加してくれるようになって充実した会議が実行され、地域からの要望、行政からのアドバイス等を受け、サービス向上に役立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当者とは、運営推進会議のほか市が主催する事業者連絡会などの場で意見交換をしているほか、電話や出向いたときなどにも連携を密にするよう努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に利用者の暮らしぶりなどを報告しているほか、毎月請求書・小遣い明細書を送付する際に、日々の暮らしの状況・健康状態・行事などを添えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や面会時には積極的に意見を聴取する努力をしている。家族等から出された意見・相談などは職員会議の席や日々の生活を支援の中で話し合い運営に活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最近では退職者はなく落ち着いている。やむを得ず退職した場合は、利用者に影響が出ないよう他の職員によるカバーで対応している。以前は6ヶ月ごとにユニット間の職員異動を実施していたが、利用者に与えるダメージがあったことから中断している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修のほか、自己啓発の面から外部研修や勉強会への参加を奨励している。現在、介護福祉士や介護支援専門員の資格に挑戦中の職員が多数いる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は事業者連絡会あるいは地域包括センターによる会議には参加して交流を図っている。一般職員まで交流の場を模索しているが実現までには至っていない。	○	多方面に働きかけ職員間の交流が出来ることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人が入居後安心して暮らせるようにと事前調査のほか利用者・家族等と一つひとつ相談しながら決めている。お試し時間を体験してもらう場合もあり、また、利用者の使い慣れたものを持ちこんで使用していただくなど、馴染みながら暮らせる支援を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員には人生の先輩を敬い大切にするという意識が徹底している。日々の洗濯・掃除・畑仕事などを一緒にする中でのやり取りでお互いの心情が通い合い、喜怒哀楽を共にする関係が築かれている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日々の生活の中での会話や言動、雰囲気などから利用者の気持ちを汲み取る様努めている。困難の場合は、人を変え、声掛けを変えたりして、訴えを受け止める様心掛けている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族からの要望を基にケアマネージャーが利用者担当の職員を含め毎月のユニット会議や全体会議で課題について話し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月毎に見直している。日常生活の支援を短期、長期のプランを立て定期的にモニタリングを行い評価し、見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の通院介助や利用者の外出や外泊、家族の宿泊など柔軟に対応している。中・高校生の体験学習の受け入れをしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医の継続や事業所の協力医による受信ができるよう支援している。協力医の往診が難しくなっている状態なので今後、介護タクシーの必要性を感じている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合については、職員間での話し合いは持たれているが、協力医の問題等から医療機関へ入院するとの方針にしている。長期入所している利用者の家族はホームでのターミナルケアを望んでいるが実現に至っていない。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声掛けや対応は、一人ひとりの状況に合わせて周囲に配慮して行っている。外部からの訪問者に敏感な利用者に職員は穏やかに対応していた。また、個人情報の取扱いは事務所に的確に保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースに合わせた日常生活が送れるよう支援している。その日の本人の気持ちや状態を配慮しながら、買い物や散歩、趣味の時間を過ごせるよう対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	昼、夜は食材業者の献立で用意している。朝は利用者の嗜好に応じた献立を立てたり、畑で採れた野菜を食卓に出し、収穫の喜びを味わっている。利用者が職員と共に片付けを手伝っている姿も見られた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日を決めてあるが、広々とした浴槽は仲の良い利用者同士と一緒に入浴を楽しめるように支援している。入浴したがる利用者にはシャワーを利用してもらっている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるよう絵や手芸、習字や家庭菜園、洗濯を干したり、たたんだり、分別作業をしてくれる人や、テレビを見ながら体操をする人など、それぞれに楽しみながら生活している。また、誕生日にはケーキでお祝いをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の気分や希望に応じて、買い物や散歩は日常的に出かけている。外食や花見も季節感を感じてもらえるよう、健康状態に配慮しながら外出支援をしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は自動ドアになっていて、職員の見守りにより鍵をかけない生活を実践しているが、外出傾向のある利用者が頻半に行動する時は、止むお得ず一時鍵をかけることがある。日常は安全面に配慮しながら支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練を実施している。災害時、避難場所に家族が迎えに来てもらえるようになっている。また、ユニット毎に手作りの防災頭巾が用意されていた。非常用の常備食は用意されているが、水の確保がされてないので災害時に不安がある。	○	災害時に備え水の備蓄が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材業者による栄養バランスを考えられた献立を職員が調理し、利用者一人ひとりの食事摂取量を記録に把握しているが、水分については定期的に摂取しているものの記録されていない。	○	体調の変化があった時だけでなく、日々の水分量の記録が望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や廊下の壁には利用者の手作りの人形やビーズ細工で描かれた作品が職員によってディスプレイされ、落ち着いた雰囲気となっている。テーブルの花瓶に活けられた花を見て利用者同士で讃嘆しあえる居心地良く過ごせる工夫をしている。また、喫煙家の方には喫煙場所が用意されていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使い馴れた家具やテーブル、テレビや家族の写真や手作りのマスコットなどが飾られていて居心地良く過ごせるようにしている。		